

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらり玉島（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月10日 ～ 令和8年1月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年12月10日 ～ 令和7年12月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた支援を実施しているところ。	それぞれの利用児に合わせた活動を取り入れている。 本人が次のステップで何を望むかを踏まえた支援を取り入れている。 本人の希望を調査している。	今後も本人の希望、要望を聞き取りながら、支援内容に反映をさせていく。 それぞれの利用児さんが、できる力が身につくように、個別、小集団での活動を充実させていく。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、共通理解が図れているところ。	・引継ぎ、ケアコラボ、電話などを通して、職員と保護者で支援について、家庭での状況についてを共有する時間を確保している。 ・タイムリーに相談に応じられる職員体制を整えている。 ・それぞれの保護者に合わせたツールを活用している。	・今後もそれぞれの保護者さんの相談にタイムリーに応じられるよう、体制を整えていく。 保護者さんが安心して子育てができるよう、職員も相談に応じるスキルを高める。丁寧な保護者支援ができるよう職員のスキルアップを行う。
3	職員間で意見を出し合い、支援の振り返り・課題をチームで行い、共有できているところ。	職員間で、朝礼、終礼の時間の中で日々の支援の気づき、課題を共有して次に繋げている。 また、職員によって支援のずれが無いように、職員間で支援について話し合う時間を日々設けている。	・今後も職員間で支援の質の向上を図る為に、各職員がスキルを高められるよう、研修などに積極的に参加をしていく。 ・それぞれの支援で行った有効な手だてを職員間で共有する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの会、勉強会、きょうだい児の会などが実施頻度が低い。	児発の利用児さんへの保護者交流はあるが、放デイの利用児さん向けの保護者交流の場は十分に作れていない。勉強会等は案内することもあるが、参加率も低いのが現状である。保護者さん向けに、無理なく交流する機会を設けていき、ほかの保護者同士でつながる機会は確保していきたい。	・保護者さんにアンケートを実施していき、何を学んできたか、保護者さん同士でどんな交流をしてみたいかニーズ把握をする。
2	地域の方を招いての行事が実施できていない。 地域に開かれた事業所にはまだ至っていない。	地域の方のボランティアは随時お受けして受け入れている状況ではある。しかし、地域の方を招いた行事、地域行事に出向く等はできていない。周辺の方への周知、案内は足りていないと思う。	・まずは、職員が地域に出向く活動を増やす。 また、利用児さんと地域の施設に出向く機会を増やしていき、その中で事業所とつながるきっかけ作りを行う。
3	所属している学校との情報共有の場の機会が持ちにくいところ。	学校との随時の電話共有、連絡帳共有は毎回しているが、お子さんの様子によって不定期な部分があり、十分に連携をとっているとは言えない。 また、学校という場でスムーズに連携がいく場所もあるが、連携がしにくい場所もある為、それぞれの状況に合わせて連携をしているのが現状。	・学期毎に学校との情報共有の場を設けていく等して定期的に連携をとる機会を増やしていきたい。 ・事業所での取り組み・支援状況を細かく伝える手段を増やす。（紙面だけではなく、電子の連絡帳で連携をとっていく等）